

文献情報									
表題・資料名									
都市雨水の水質特性と利用効果に関する調査報告書									
部会	G1	文献ID	R0027	観測ID	S001	公表年	2002		
著者名									
松原誠、井上弥九郎、榊原隆、山下洋正									
収録雑誌名									
国土技術政策総合研究所資料									
巻号	No.15	ページ	25						
分類と目的									
都市		農地		林地		流域		その他	
目的									
屋根雨水の水質特性									
コメント・特記事項									
既存の調査結果との比較									
地点情報と流域情報									
地名									
土浦市 土木研究所湖北総合実験施設									
都道府県	茨城県	標高(m)		水系					
経度		緯度							
形状係数		平均勾配		流域面積(ha)		流路延長(km)		河川次数	
土地利用情報									
都市									
農地									
林地									
その他									
時期と調査方法									
観測期間	4年間								
観測開始日	1995/xx/xx								
観測終了日	1998/xx/xx								
水質観測頻度	38回								
採水頻度	38回								
流量観測頻度	五分間隔								
採水方法			流域観測方法						
実測値		マニユアル							
観測値(第三者提供)		自動採水器							
モデル等推測値		その他							
その他									
降雨時調査									
調査実施		最大降雨強度							
観測イベント	38	先行晴天日数							
最小雨量(mm)	2.0								
最大雨量(mm)	56								
気象情報									
実測		方法		場所	アメダス地点 土浦				
観測値の利用		提供機関		観測地点	アメダス地点				
モデル等推測		モデル名		コメント					
その他									
対象物質									
N		P		有機物	その他				
全窒素(TN)		全リン		T-COD(Mn)	SS				
溶存態窒素(DN)		溶存態リン		D-COD(Mn)	濁度				
硝酸		リン酸態リン		TOC	重金属				
亜硝酸									
アンモニア									
その他		その他		その他	その他				

文献情報							
表題・資料名							
都市雨水の水質特性と利用効果に関する調査報告書							
部会	G1	文献ID	R0027	観測ID	S001	公表年	2002
著者名							
松原誠、井上弥九郎、榊原隆、山下洋正							
収録雑誌名							
国土技術政策総合研究所資料							
巻号	No.15	ページ	25				
原単位							
窒素-数値	T-N=6.6	単位	kg/ha/year				
原単位の求め方							
?対象期間の各独立降雨の総降雨量を整理 ?降り始めからの降雨量により、各独立降雨の降雨量を3分類（A：降り始めから1mmまでの部分 B：1mmを超えて、6mmまでの部分 C：6mmを超える部分） ?3分類の降雨の対象期間中の総和を求める ?各分類に対して、次の屋根雨水水質と流出係数をあてる（A：初期雨水水質、0.5 B：初期カット雨水水質、0.9 C：初期カット雨水水質の1/2、1） ? ?と?をかけあわせて、各降雨分類ごとの汚濁負荷量を算出したのち、足し合わせて汚濁負荷量原単位とする							
リン-数値	T-P=0.74	単位	kg/ha/year				
原単位の求め方							
?対象期間の各独立降雨の総降雨量を整理 ?降り始めからの降雨量により、各独立降雨の降雨量を3分類（A：降り始めから1mmまでの部分 B：1mmを超えて、6mmまでの部分 C：6mmを超える部分） ?3分類の降雨の対象期間中の総和を求める ?各分類に対して、次の屋根雨水水質と流出係数をあてる（A：初期雨水水質、0.5 B：初期カット雨水水質、0.9 C：初期カット雨水水質の1/2、1） ? ?と?をかけあわせて、各降雨分類ごとの汚濁負荷量を算出したのち、足し合わせて汚濁負荷量原単位とする							
有機物-数値		単位					
原単位の求め方							
TOC-数値		単位					
原単位の求め方							
SS-数値	SS=182	単位	kg/ha/year				
原単位の求め方							
?対象期間の各独立降雨の総降雨量を整理 ?降り始めからの降雨量により、各独立降雨の降雨量を3分類（A：降り始めから1mmまでの部分 B：1mmを超えて、6mmまでの部分 C：6mmを超える部分） ?3分類の降雨の対象期間中の総和を求める ?各分類に対して、次の屋根雨水水質と流出係数をあてる（A：初期雨水水質、0.5 B：初期カット雨水水質、0.9 C：初期カット雨水水質の1/2、1） ? ?と?をかけあわせて、各降雨分類ごとの汚濁負荷量を算出したのち、足し合わせて汚濁負荷量原単位とする							
その他-数値		単位					
原単位の求め方							
その他・備考・コメント							

日本水環境学会 (2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究  
注：データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。